

免許状教科	中学校 1 種（社会）・高等学校 1 種（地理歴史・公民・商業）		
科目名	特別活動の理論と方法	科目分類	教職科目
			経済学科 ☐ 必修 ☒ 選択
			学科 ☐ 必修 ☐ 選択
英文表記	Theory and Methods of Special Activities	開講年次	☐ 1 年 ☐ 2 年 ☒ 3 年 ☐ 4 年
ふりがな	いちはら みつまさ	開講期間	☐ 前期 ☒ 後期 ☐ 通年 ☐ 集中
担当者名	市 原 光 匡	修得単位	2 単位
授業のテーマ	☒ 対面のみ ☐ 遠隔のみ ☐ 対面・遠隔併用		
到達目標	児童・生徒の生きる力の獲得を可能とし、将来の人生設計に資する指導のあり方を探る。 1. 生徒指導の意義や原理を理解し、説明できること。 2. すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方を理解し、説明できること。 3. 児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の様態と、養護教諭等の教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を理解し、説明できること。 4. 進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解し、説明できること。 5. 全ての児童及び生徒を対象とした進路指導・キャリア教育の考え方と指導の在り方を理解し、説明できること。 6. 児童及び生徒が抱える個別の進路指導・キャリア教育上の課題に向き合う指導の考え方と在り方を理解し、説明できること		
授業概要	教育の現場では、発達の段階に応じたキャリア教育が行われている。他方、発達の各段階におけるさまざまな問題行動も発生し、その対応も求められている。授業ではその動向をふまえ、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身につける。さらに、進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それに向けた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身につける。		
授業計画			
第 1 回	ガイダンス		
第 2 回	特別活動の教育的意義と実践課題		
第 3 回	特別活動の内容・方法・評価		
第 4 回	特別活動の歴史		
第 5 回	学級活動とホームルーム活動		
第 6 回	児童会活動・生徒会活動とクラブ活動		
第 7 回	学校行事		
第 8 回	特別活動と教科指導		
第 9 回	特別活動と道徳		
第 10 回	特別活動と総合的な学習の時間		
第 11 回	特別活動と学級経営		
第 12 回	特別活動と生徒指導		
第 13 回	特別活動の実践的課題（キャリア教育との関連・命の教育との関連）		
第 14 回	特別活動の実践的課題（食育・安全指導との関連）		
第 15 回	まとめ		
第 16 回	定期試験		
授業時間外の	これまで経験してきた特別活動をふり返り整理するとともに、特別活動を通して得たものを検討すること		

学習	(1.5 時間程度)。また授業各回、課題を提示するので、復習として取り組むこと (1.5 時間程度)。
履修条件 受講のルール	特になし
テキスト	新富康央・須田康之・高旗浩志〔編著〕『生きる力を育む特別活動一個が生きる集団活動を創造する』ミネルヴァ書房, 2020.
参考文献・資料	文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別活動編』東山書房, 2018. 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』東京書籍, 2019.
成績評価の方法	平常点 30%、定期試験 70%の比率で評価する。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	火曜日 9:00～10:30・金曜日 13:00～14:30
成績評価の基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
学生への メッセージ	複数回参加者が議論する回を設ける予定であるので、積極的な参加を期待する。また、わからないことは担当教員に確認するよう心がけたい。